

いろはのうた

福田一政詞
村上浩曲

□□□
「い」はいなかの春の山
雪どけ水のふきのとう

「ろ」は炉端のきりたんぽ
焼ける匂いの秋の夜

「は」は、はかない恋の夢
初めてのんだ屠蘇の味

「に」は二シの花うす緑
雨ふるまどのそと

「ほ」は蛍のともす灯よ
幼い頃のかおなじみ

「へ」はへちまの垣根越し
誰かと誰かのかくれんぼ

「と」は遠くの街あかり
泣いて覗いてた目に映る

いろはのうた

福田一政詞
村上浩曲

□□■

「い」は、
いなかの春の山

雪どけ水のふきのとう

「ろ」は、

炉端のきりたんぽ

焼ける匂いの秋の夜

いろはのうた

福田一政詞
村上浩曲



「は」は、
はかない恋の夢
初めてのんだ屠蘇の味

「に」は、
二シの花うす緑
雨ふるまぶじのそと

いろはのうた

福田一政詞
村上浩曲

■ ■ ■
「ほ」は
蛍のともす灯よ
幼い頃のかおなじみ

「へ」は
へちまの垣根越し
誰かと誰かのかくれんぼ

「と」は
遠くの街あかり
泣いて覗いてた目に映る